

先順位から、一旦白紙にすべきと考えるが、どうか。

市長 市民の健康増進施設として子どもから高齢者までの利用を検討する中で、水泳や水中ウォーキング等、年齢に関係なく活用できるため、整備内容、建設規模等の整備基本構想策定に向けて検討中の段階である。今後第6次笠岡市総合計画の後期基本計画期間中には、整備基本構想を策定したい。

ほかに★第6次総合計画と新産業ビジョン★最終処分場選定の状況について質問しました。

田口忠義議員



地方中枢拠点都市との広域連携制度について

議員 今年5月に福山市と倉敷市において、近隣の自

治体が適切な役割分担のもと、それぞれの地域が有する独自の資質を活かしつつ、都市機能の充実、居住環境の整備、業務施設の立地を計画的に推進し、地域の拠点性をさらに高めるとともに、地域間の連携を促進すること、活力の維持・向上に努め、豊かな地域社会の創造を目指す目的で国の新たな広域連携モデル構築事業に応募したが、本市の役割についてたずねる。

市長 今後、連携事業の内容を個々に検討して、連携できる事業については連携していきたい。

議員 福山市では企業からの誘致相談があつても、現実には場所がないから断つていと聞く。本市には県の工業団地があり、大半が空いている状況であるが、県の所有だからと言い、まるで他人事ではないか。雇用・税収面でも積極的に支援すべきである。また今後福山市に職員を派遣してでも情報交換を緊密に行い、経済

連携も積極的に行っていたきたい。

建設産業部長 情報共有に關しても、可能であれば、今後そういうやりとりを行い、どちらにとつても有利になるよう進めていきたい。

防犯や事故について

議員 本市でも数多くの事件が発生しており、防止策としてさらなる防犯カメラの設置が有効と考えるが、取組みをたずねる。

市長 本市が設置管理する防犯カメラは、現在82台が稼働しているが、今後、犯罪発生の可能性が高く、防犯のため継続的な監視が必要な施設について、警察署の意見も聞きながら設置を検討したい。

保育料の無償化について

議員 保育料について無償化をする考えがあるのかたずねる。

市長 本市の財政状況を考

えると難しく、国の制度拡充による補助を待ちたい。

仁科文秀議員



公共交通の今後について

議員 高低差の多い本市の地形や地域性、市民のますの高齢化や生活実態にあわせた利用者の利便性を考慮し、今の路線バスに固執することなく、今後はデマンドタクシー、コミュニティバス等、現在の路線バス以外の交通手段の検討も早急に必要になると考えるが、どうか。

市長 現行の路線を維持していく方向であるが、乗降客数や収益率等の状況によっては検討する必要がある

とも考えている。

議員 バス利用促進についての市民アンケートの中には、学生から「バスの乗り方が分からない」、「学校説明会でのバス事業者からの説明がない。」などといった意見が多々あつた。その対応はどうするのか。

政策部長 乗降場所、料金面等を入学の際の説明会でさらに詳細に説明する必要があると感じている。

人口減少時代への対応について

議員 有識者等で構成される「日本創成会議」では、本市のような若年女性が半減する自治体は人口減少がとまらないまちとして「消滅可能性都市」と位置づけられている。

ここ数年様々な定住促進施策を行つて、社会動態については幾分改善が見られてはいるが、今後長期で見据えた時に、このことについてどう認識し、対策をと